

主宰する塾は、高校合格を目指す姫路市内の公立中学生が対象だ。学校の授業進度にぴったり合わせて丁寧に指導する、少人数制の家庭教師のような塾。そうホームページにはうたっている。東大卒業から姫路に戻って、2018年春から塾を再開した。

安政が卒業した姫路西高校は地元の名門だ。

倫理学者で東大教授を務めた和辻哲郎、落語家の桂米朝、ファッションデザイナーの高田賢三ら、そうそうたる卒業生がおり、50歳で東大に入学した安政もまた、メディアの高校紹介記事の中に名を連ねるようになった。

「思えば私のこれまでの人生は、姫路西高校に入ったことから始まったのかもしれない。今回、東大合格したときに、地元新聞などで30年越しの夢をかなえたように書かれましたが、ずっとそう思っていたわけではないのです。たまたま次男が東大を受けるといっているので、当時の、東大に入りたいと思っていた気持ちがよみがえってきて、猛勉強し、念願かなって合格できたと思っています」

東大合格は、安政にとって、悲願。だったのではないのか。現役のときは、京大と早稲田大学を受けて不合格になった。浪人するからには「最難関の東大に入りたい」と翌年は東大一本で臨むが不合格に。そして二浪目でも東大に落ち、早稲田大学第一文学部に進ん